

第2回不燃ごみ展開調査について

令和7年9月9日に実施した展開調査とは別の市から組合に搬入される不燃ごみについて調査を実施した。

- ・実施日時:令和7年10月6日(月) 14:30～
- ・実施場所:一時貯留場前(組合有地北側)
- ・調査ごみ:不燃物、搬入車両 2 台分
- ・調査方法:発火原因となると考えられる、2次電池(モバイルバッテリー)、2次電池が入っている小型家電、可燃性ガスを使ったスプレー缶、ライター、乾電池などを袋に入っているものも全て開けて取り出す。
- ・調査結果(重量ベース)

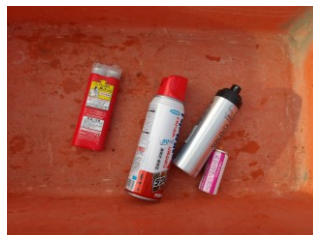
ごみ全重量(2 台計)	不適物
1,930 kg	25.885 kg

- ・調査により出てきた不適物:収集区分では、不燃(燃えない)ごみには入れられない。2次電池を使用した小型家電や乾電池については「危険物」、スプレー缶については、中身を出し切り、「資源物」として出すものである。

【1台目不適物】



【2台目不適物】



以上、調査により、1回目と同様に、本来は不燃ごみの区分では出せない発火の原因となるごみが多数入っていた。

重量ベースでは1回目の展開調査と同程度の約 1.3%であった。(搬入量 5t/日とすると 65kg/日ほどの不適物が混入していることとなる。)

【展開調査2回合計(9/9 及び 10/6)】

ごみ全重量	不適物
3,300kg	43.57 kg

※不燃物、搬入車両 4台分